

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
8 月 平均気温（℃）	25.4	25.9	26.5	25.0	26.7	23.6	26.2	24.8	月間平年比+1.4℃（高）
8 月 降水量（mm）	1.0	29.2	10.0	59.4	8.5	78.4	19.5	167.0	月間平年比 12%（極少）
8 月 日照量（h）	58.4	77.1	92.0	58.9	90.6	59.9	241.0	195.9	月間平年比 123%（高）

- 7 月特記：真夏日 3 豪雨 52.5 mm（7/8）59.0 mm（7/15）雨量 10 mm 以上 9 日 関東甲信梅雨明け 8/1 頃（過去 10 年で最も遅い）
- 8 月特記：真夏日 24 猛暑日 4 最高 38.1℃(8/11) 多雨 10 mm(8/12)
- 上旬（平年比）：気温（並）－0.5℃、降水量（極少）3%、日照量（少）76%
- 中旬（平年比）：気温（高）+1.5℃、降水量（極小）17%、日照量（極多）156%
- 下旬（平年比）：気温（極高）+3.1℃、降水量（極小）11%、日照量（極多）151%
- 月間（平年比）：気温（高）+1.4℃、降水量（極小）12%、日照量（多）123%



2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

【生産特記 2020】

① 生産基盤（推定）：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 85ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 9ha・柿 6 ha・プラム 40 ha

② 生育経過：4 月生育遅滞（満開平年並） 5 月少雨・干ばつ 6-7 月過去にない長梅雨 8 月記録的猛暑

③ 収穫開始①：太陽 8/3、秋姫 8/26、パール 9/10

④ 収穫開始②：川中島 8/17、黄金桃 8/21、さくら 9/5、白根 9/10、GP9/15

⑤ 収穫開始③：夏あかり 8/1、シナノリップ 8/18、つがる 8/24、すわっこ 9/5、秋映 9/28、スイート 10/5、ゴールド 10/15

⑥ 収穫開始④：ナガノ P 8/30、有核巨峰 8/30、種なし巨峰 9/2、シャインM9/16、ピオーネ 9/16

⑦ 収穫開始⑤：幸水・オーロラ 8/20、マリーラ 8/24、豊水 9/3、バラード 9/10、あきづき 9/5、南水 9/10、ラフ 9/20-30

⑧ 猛暑の影響：重度の日焼け多発、果肉先行、害虫被害拡大他

⑨ プラム：生産量昨対 静香 66%、サマー E 59%、貴陽 40%。太陽に果頂部裂果、秋姫・シナノ P に日焼け症状、果肉褐変症発生。

⑩ も も：生産量昨対 あかつき 78%・なつっこ 90%。平均糖度 12% 台（昨年より低い）。核異常・内部褐変多発・高温によるミツ症発生によりロス率高い。全域で収穫前落果が平年より多い。果肉先行により収穫期間は平年より短い。せん孔病被害全域で多い。

⑪ りんご：生産量昨対 110% 見込み。秋映・ふじサビ率非常に高い。果実肥大良好。平均糖度：つがる 11-12%、リップ 13-14% 台。（昨年より低い）。連日の高温でつがる・秋映で重度の日焼け多発し生産量に影響している。

⑫ ナシ類：生産量昨対南水 100%・ラフ 90%（面積減あり）サビ発生あるが、果実品質・肥大良好。果肉先行が顕著のため、収穫は昨年より 7 日程度早まる見込み。南水の果形良好・14 玉中心の見込み。ラフランスも日持ち性を考慮し前倒しで収穫を進める。

⑬ ぶどう：大房傾向。ナガノパープル着色良好・裂果散見。シャインマスカットに日焼け・縮果症・未熟粒（石ぶどう）混入あり。

⑭ 柿・キウイ F：柿の結実量は平年並～多。6 月下旬頃キウイ F フルメット処理実施。葉等に低温被害発生。

【2020 病虫害対策】

① 共通：長梅雨で腐敗性病害感染拡大。カメムシ・クビアカスカシバ・ハダニ類被害多発中。

② 腐らん病：5 月以降枝腐らん病発生非常に多い。梅雨期間感染拡大中。

③ 黒星病：果実被害率 1.10%（2 年連続小発）。被害葉発生率 55%。長梅雨（7 月）で二次被害拡大。

④ せん孔細菌病：5 月上旬～春型枝病斑（多発）、5 月中下旬～葉病斑発生、6/10 前後～果実被害発生。果実被害は全域多い。特に被害が目立つ園では収穫後から順次ボルドー散布を進める。

⑤ 黒斑病：プラムで発生。6 月頃感染→7 月～病斑散見。全域で被害目立つ。

⑥ 黒とう病：シャイン M で 6 月上旬から葉・軸部病斑発生。6 月中旬頃感染→7 月に入り発生日立つ。

⑦ べと病：梅雨期間で感染拡大。全域で発生。病斑は園地外へ持ち出す対策徹底する。

⑧ 晩腐病：梅雨期間で感染。8 月末では少発生。糖度が一定基準に達した房から順次収穫を進める。

⑨ 主幹害虫：粗皮削りの実施とラビキラー乳剤等の丁寧な散布実施。産卵前の散布を重点とする。

⑩ ハダニ類：7 月上旬で一次発生。8/10 頃発生ピーク。お盆後に部分的な発生日立つが全体では少発生。

⑪ スモモンクイムシ類：発生ピーク 5/27（越冬）・7/8（第 1 次）・8/12（第 2 次）。梅雨明け後から被害拡大。プラム・りんごで被害目立つ。

⑫ カスミカメムシ：展葉後のシャインM等に加害有。6 月の房吸汁被害も発生。8 月も断続発生中。

⑬ カメムシ類：全体で被害多発。過去 5 年では最も多い発生量。6 月の産卵数也多。8 月の被害も散見。

⑭ コガネムシ類：7 月からもも・プラム等で大きな食害あり。